



みどりの森保育園の鯉のぼり

11月号からの表紙写真を募集します。(次号で詳細を掲載します。)

令和2年 3月定例会

〈令和2年度予算・補正予算〉…………… 2	〈産業厚生常任委員会の審議〉…………… 5
〈3月定例会・議員の賛否一覧〉…………… 3	〈代表・一般質問・その他の質問〉10名が質問… 6~11
〈総務教育常任委員会の審議〉…………… 4	〈新議長挨拶・議会新体制ほか〉…………… 12



避難場
釜ヶ淵小学校

令和2年度一般会計予算額 112億4,300万円 対前年当初比6.7%減

(令和元年度一般会計補正予算に5億1,647万2千円を追加し、
一般会計総額133億6,120万3千円に)

令和2年度予算ピックアップ事業

- 小学校施設建設等整備事業…………… 1億5,360万円
・釜ヶ淵小学校の長寿命化工事等
- 消防施設整備事業…………… 1億3,490万円
・上段分団詰所の建て替え工事関係 (5,520万円)
・多機能型消防ポンプ自動車の購入 (7,800万円)
- 埋蔵文化財センター施設整備事業…………… 8,700万円
・旧日中上野保育所に移転するための工事費等
- 新時代の立山ランドデザイン事業…………… 4,495万円
・千寿ヶ原1号公園駐車場の拡張工事等 (1,500万円)
・田園・里山エリアランドデザイン策定等 (1,432万円)
・立山駅前での観光案内所開設準備、運営等 (850万円) ほか

令和元年度一般会計の主な補正予算

- 地方道路整備事業…………… 9,673万円
未就学児や児童・生徒の安全対策として道路拡幅やカラー舗装を行うもの
- 小学校施設建設等整備事業…………… 7,871万円
校内無線LAN整備にかかる経費 (学校ICT事業に関連)
- 立山駅前再活性化プロジェクト事業…………… 6,130万円
立山駅前の廃業した旅館を改修し、観光案内所や宿泊体験施設にするもの
- 学校ICT推進事業…………… 4,066万円
国のGIGAスクール構想に基づき、町内の小学5・6年生と中学1年生分のタブレット端末を導入

令和2年3月定例会は、3月3日から19日までの17日間にわたって開かれ、補正予算6件、令和2年度予算8件、条例の制定等17件、計画・規約の変更3件、町道路線の認定1件、最終日追加の協定・契約の変更2件、公有財産の処分3件、指定管理者の指定2件、人権擁護委員の推薦2件を上げし、合計44件の議案を可決しました。

代表質問では1名、一般質問では9名の議員が町政全般について質問を行いました。
(質問と答弁の要約は、6ページから11ページです。)

会議録は、5月中に図書館及び、町ホームページで閲覧できるようになります。

条例の制定

- 立山町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例
- 立山町情報通信機器整備基金条例
- 立山町空家等の適切な管理及び活用に関する条例

条例の改正・廃止

全部改正 ● 立山町搾汁施設設置条例（愛称：上東ビバレッジ）

一部改正 ● 立山町浄化槽設置及び管理に関する条例

- 立山町営住宅条例及び立山町特定公共賃貸住宅条例
- 立山町道路構造の技術的基準等を定める条例
- 立山町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例
- 立山町職員の特殊勤務手当に関する条例
- 立山町職員のサービスの宣誓に関する条例

● 立山町水道事業の設置等に関する条例

- 立山町水道事業給水条例
- 立山町公民館設置条例
- 立山町固定資産評価審査委員会条例
- 立山町職員の育児休業等に関する条例
- 立山町印鑑条例

廃止 ● 立山町農村集落多目的共同利用施設設置条例（通称：上段南部集落センター）

その他の議案

- 辺地総合整備計画の変更（日中上野・東谷地区、新瀬戸・立山地区）
- 富山地区広域圏事務組合規約の変更（有害鳥獣処理施設）
- 町道路線（曾我鉾木線）の認定
- 立山町五色ヶ原地区携帯電話不感地帯解消基地局整備工事請負変更契約の締結
- 町道日中田添線道路改良事業に伴う富山地方鉄道立山線田添～五百石間の踏切拡幅工事の施行協定の変更
- 公有財産の処分 利田地区企業団地造成地（株式会社品川グループ本社）
塚越地区企業団地造成地（前田薬品工業株式会社）
白岩・芦見地区企業団地造成地（株式会社白岩）
- 指定管理者の指定 立山町東谷地区地域資源活用総合交流施設、立山町四谷尾地区親水公園
（立山自然ふれあい館管理組合）
- 人権擁護委員候補者の推薦（2件）（牧野 信子氏、山口 俊政氏）

※ 3月定例会は全ての議案について全員賛成で可決しましたが、議案数が多いため、掲載を省略しています。
なお、町のホームページでは全ての議案について、賛否を掲載しています。

〈過去の賛否はこちら〉



令和2年2月立山町議会臨時会 議員別賛否一覧表

○賛成 ×反対

議案	議長	議員													
		村田	髪口	平井	荻生	澤井	石田	村上	岡田	内山	佐藤	伊東	後藤	坂井	窪田
第1号 令和元年度立山町一般会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号 立山町監査委員の選任について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

戸別受信機の無償貸与者は

希望する75歳以上高齢者世帯へ

委員会の審議

総務教育常任委員会



戸別受信機

総務課

Q 「防災行政無線管理事業」について、戸別受信機の無償貸与の対象となる、75歳以上高齢者のみ世帯への周知、応募方法、および選定方法は。

A 区長会総会で告知町広報誌やホームページ等での周知を行う。応募多数の場合は、ハザードマップで危険区域などの条件を考慮して選考したい。

企画政策課

Q 「立山暮らし体験施設兼大学生向け学生寮改修実施設計」の委託料で、空き家を学生寮にするが場所はどこか。

A 具体的な対象施設は未定だが、地域としては、五百石地区を想定している。

税務課

Q 滞納されたまま回収しきれなかった税金の処理は。

A 地方税法に基づき財産調査や身辺調査を行い、可能であれば差し押さえ等を行う。財産がなき場合執行停止とし、時効になれば不納欠損処理を行う。

消防本部



多機能型消防ポンプ自動車

Q 新しく購入する多機能型消防ポンプ自動車の特徴及び活躍場面はどうか。

A 13.7mまで伸縮するブームが特徴で、先端部には大人3人が乗れるバスケットが付いており、高所からの放水4階建ての建物からの救助が可能である。また900ℓの水も積載し、今まで出来なかった消火活動及び救助活動が出来る。

教育課

Q 利田公民館に設置予定の太陽光パネルの詳細を問う。

A 太陽光パネル18枚容量16.8kwの蓄電池、LED照明は236器設置予定である。

会計課



釜ヶ淵小のソーラーパネル&蓄電池

Q 今年度から対象範囲が拡充されたコンビ

議会事務局

Q 富山県町村議会議長会へ支払う負担金について詳細は。

A 主に各町村の議長・議員が参加する、全国大会や研修会の旅費であり、所属の4町1村で分担している。近年、基金の繰り入れが続いていることから、新年度から、25万円あまり増額となった。

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。

二収納だが、件数ほどのくらいか。

A 平成27年度からスタートし、毎年700件前後で推移していたが、今年度の拡充により2月末現在で、9218件と大幅に伸びている。

江崎町営住宅移転支援策は 引っ越しや家賃差額分を助成

健康福祉課

Q 「包括的支援事業・任意事業」について、GPS端末を活用した取組みを開始するが、周知方法や、対応機種は。

A 認知症高齢者等見守り事業の登録対象者へ個別に、文書による周知を行い事業の浸透を図る。

他市町村で導入実績のある機種を選定する予定。

水道課

Q 「農業集落排水事業」について、浄化センターの維持管理費は今後も増加がみこまれるが、施設等の整備計画は。

A 国の補助金を活用し、機能診断調査と構想計画策定を実施する。5施設の劣化進行状況等を把握し、将来的な長寿命化や集約編成等の方針について決定していく。

住民課

Q 「地域交通対策事業」について、古くなった町営バス停修繕の具体的な内容は。

A 時刻表の張替えに伴う劣化や支柱の変形等が多数見受けられるため、111個所の内104個所の修繕を実施する。

建設課

Q 「住宅管理事業」について、江崎町営住宅入居者移転支援策の詳細は。

A 公共施設等マネジメント計画に基づき、令和7年度末までに廃止となるため、入居者への説明会を実施している。

引っ越し費用や家賃が増額になった場合は差額分を5年間助成する。

農林課・農業委員会

Q 旧上東中学校体育館に建設した搾汁施設（上東ビバレッジ）の使用料の詳細は。

A 使用料は1本当たり30円とし、桃・ラフランス・りんごの3種類それぞれ2千本で合計6千本のジュースを生産する。

農産物の収穫時期に合わせた生産のため、通年での施設利用は見込んでいない。



傷んだバス停

商工観光課

Q 「地方創生推進交付金（新時代の立山ブランドデザイン事業）」について、駐車場有料化実証実験の詳細は。

A 千寿ヶ原1号公園駐車場で拡張工事完了後、駐車場の混雑が見込まれる繁忙期に実験を行う。



GPS 端末機所持

パソコンや電話で確認



千寿ヶ原1号公園

代表・一般質問

10名の議員が代表・一般質問を行いました。

一部の質問・答弁について、その要旨を掲載しています。

詳しくは、図書館や議会事務局に会議録があるほか、町ホームページでも見ることができます。
<http://www.town.tateyama.toyama.dbsr.jp/index.php/>



町財政

編成方針について

新たな着眼や柔軟な発想で取り組む



佐藤 康弘 議員

境保全対策にも配慮した。

今後、地方交付税や地方交付税などの一般財源の確保が厳しいことから、無駄の排除、予

算の重点化はもろろんこれまでの考え方にとられず新たな着眼や柔軟な発想で施策に取り組む。

鳥獣被害

有害鳥獣焼却施設の整備スケジュールは

町内で建設することが有益

議員 富山地区広域圏事務組合で、有害鳥獣

の焼却施設の計画が立山町で施設整備すると聞くが、その経緯や理由、今後のスケジュールは。

断じた。

今後のスケジュールは、令和2年度に用地買収交渉、造成設計業務、令和3年度に建設設計及び工事完了、令和4年度4月供用開始を目指すものである。

議員 立山地区・上東地区に向けた取り組みが計画されているが、具体的にどう進めるのか。

町長 近年、町へは団体客から個人旅行者への増加が続く。上東地区では民間企業による新たな開発が進められており、追い風と感じている。

立山駅周辺において観光案内などをグラウンドデザインに基づき一体感のある景観整備として取り組む。

また、「上東地区」の点在する観光資源を立山線と電動自転車などの二次交通を活用し有機的・効果的に結びつけていく。

町長 「町のかたちをリ・デザイン(再設計)」する決意のもと、町中心部の公共施設等の再編計画、地域活動の担い手や魅力創造のまちづくりを中心に積極的に取り組んだ。

町長 昨年4月から現在までのイノシシの捕獲頭数は、137頭で昨年度の約3倍である。今後とも増加すると思われることから、負担軽減を図るため、町内で焼却施設を建設する。施設完成後の維持管理に、町内で新たな雇用が生まれるなどの地域貢献にもつながると判

魅力・活力

立山グランドデザインについて

新時代にふさわしい立山観光のあり方を確立



立山駅前

自主防災組織

地区防災計画の手引き作成を

県防災士会の協力、各地区防災計画作成を推進



澤井峰子 議員

議員 千年に一度の豪雨を想定した洪水ハザードマップ更新により、指定避難所が変更となる地域は避難経路等の見直しが必要とな

近に微生物型家庭用生ごみ処理機を置き周知するとともに補助金とごみ減量活動奨励ポイントを組み合わせ、購入費1/2で3万円を超えた分を上限2万円ポイント上乘せし、生ご

住民課長 町の補助対象は、微生物型の製品に限り補助率1/2上限3万円としている。

4月から役場食堂付近に微生物型家庭用生ごみ処理機を置き周知

議員 各家庭の生ごみを家庭用デイスポーター設置で減量してはと思うが。

家庭用デイスポーター設置に助成を

微生物型生ごみ処理機に補助拡充

み減量化を積極的に普及・促進していく。

生ごみ削減

各自自主防災組織で話し合えるよう地区防災計画の手引きを作成し推進をすべきではないか。

総務課長 地区防災計画は、地区や集落内の住民同士が実情を踏まえ自発的に作成するものである。

県防災士会にも協力を得て、変更地区の計画作成を推進する。



家庭用生ゴミ処理機 バイオクリーン

BS-02型 (1日2kg処理)

東北大学と共同開発したアンドロ[®]コンポスト分解方式 (特許取得済) 採用

- ◆長時間分解能力が持続するのでランニングコスト大幅低減
- ◆良質堆肥で野菜収穫量アップ 花や植木いきいき

聖観音菩薩

観光施設に資する名乗りを

設置場所・設置費用等で相当な問題



岡田健治 議員

町長 高岡地場産業センターの駐車場に建つ黄金の聖観音菩薩像は昭和58年に旧新湊市に本社があつた黒谷美術

議員 黒谷美術が製造した北村西望氏原型の聖観音菩薩像の移転先が確保されていない。立山町の平坦地観光の目玉になろう。設置場所に名乗りを上げた。せめて、歓迎すると表明したらどうか。

が建立したものの。町での受け入れについては設置場所や設置費用、維持管理面などで相当の問題が想定されることから難しいと考えている。



8号線沿いの観音像

また黒谷美術からの要請も受けていない。

子育て支援

シングルマザーへの支援充実せよ

パンフ等で支援内容を把握

議員 先進国の中で極めて高い貧困率は注目をあびている。正社員と同じように働いているのに給与面や待遇面が充実していない。

児童扶養手当や医療費助成・無償化の充実も必要だが、食事の買出しや生活環境の協力体制を整備してあげられないか。

町も児童扶養手当や学校での放課後学習支援等、課を越えて幅広く取り組んでいる。パンフレットを作成して各種施策・情報を発信し、求めているサービスの把握に取り組んでいく。





萩生義明議員

役場庁舎 令和7年度に 更新時期とあるが 必要に応じて 柔軟に対応

議員 役場庁舎は、行政、防災の拠点であり、大変重要な施設である。現在築56年になるが、今後の更新時期についてどのように考えているのか。

町長 役場庁舎は、築後50年余りが経過し老朽化が進んでおり、町公共施設等マネジメント計画では、令和7年

安全対策 農業用水路の安全対策

度、役場庁舎は町民会館と統合」としている。新年度に策定する町中心部公共施設等再配置計画の内容と町の財政状況、社会情勢の変化も踏まえ、必要に応じて柔軟に対応していく。

地域の実情に応じた事故防止対策に努める

議員 富山県では農業用水路への転落事故死が多発している。未然に防止することを目的として、農業用水路安全対策ガイドラインを策定し、事故防止対策を推進しているが、町の対策は。

農林課長 県では、平成21年から10年間に発生した農業用水路の転落死亡事故は、184件あり、そのうち11件が町で発生している。町では注意喚起看板の設置、事故防止のポスターの配布、水路管理者が実施する転落防止柵設置の支援をしているが、整備は、思うように進んでおらず、県のガイドラインに基づき、効果的な事故防止対策に努める。



農業用水路の安全対策パンフレット



村上紀義議員

健康寿命延伸 フレイル対策の積極推進を 専門職確保に体制整備

町長 町では、令和2年度に富山県のモデル事業を活用して、フレイル対策を行うことにしている。住民課と健康福祉課が連携し、令和3年度より本格的な事業として取り組めるよう、専門職確保等の体制整備に努めたい。

福祉避難所

要配慮者、いざという時の受け入れは

2か所の施設、共通手順を示す

議員 昨年も自然災害が多発し、高齢弱者を中心とした犠牲者が多かった。そんな中で、配慮が必要な方々の受け入れ施設である福祉避難所受け入れと施設間の連携は。

町長 町では、特別養護老人ホーム竜ヶ浜荘と、町保健センターの2か所を指定し、災害時には町の指定法人が



開設・運営する。要配慮者の受け入れは、一般避難所内の福祉避難所スペースや福祉避難室を利用し、その後福祉避難所に移動する。



自主防災組織

町内での
組織率は

本年2月末現在
93.5%



髪口清隆 議員

議員 近年各地で起こっている甚大な災害によって、防災に対する意識は高まっており災害時には自主防災組織の役割は大変重要だと思われる。

町内での自主防災組織率は、また組織間の意見交換や活動報告の場を設けては。

総務課長 本年度1組織が増え、2月末現在で93.5%となった、組織率が向上しない要因としては、高齢化や役員交代が頻繁にあるなど

建設課長 日頃よりパトロールを実施し、危険箇所の把握に努めており、ネットの設置など法面対策工事等を実

議員 神奈川県逗子市の土砂災害警戒区域において、歩道を歩いていた女子高校生が巻き込まれて亡くなる痛ましい事故があった。

この事故を受け、町内の土砂災害警戒区域などの点検や対策は行われたのか、また土砂災害ハザードマップの変更箇所や、次回作成予定は。

土砂災害

警戒区域の点検や対策は

早期発見に努め、対策を実施

考えられる。

県が主催する講義や研修会への参加を促し今年度は36名が参加された。

町では、総合防災訓練や、防災士による講

演等を実施しており、今後とも防災学習・啓発の機会づくりを継続し、自主防災組織の意見交換や活動報告の場を設けられるよう努めていく。



議員 神奈川県逗子市の土砂災害警戒区域において、歩道を歩いていた女子高校生が巻き込まれて亡くなる痛ましい事故があった。

県が指定している170か所の土砂災害警戒区域の変更はないが、今年度ハザードマップの更新を行って、3月には町ホームページで公表、4月には区域集落内の全戸に配布予定。

移住定住

町の現状及び仕掛けは

新たな促進策に予算を計上



坂井立朗 議員

議員 町の現状及び更なる仕掛けは。

町長 平成25年度以降は、平成28年度を除き毎年200人以上の人口減少が続いている。特に、平成29年度以降の出生数は140人程度

読解力向上

リーディングスキルテストの継続を

再度実施したい

度で推移しており、大変危機感を持っている。移住定住の促進については、コンシエルジュの配置や支援サイト「立山暮らし」の公式インスタグラムを開設し、情報発信の強化に努めてきた。

新年度では、サテライトオフィスの誘致体



制の強化など新たな移住定住の促進対策に取り組む。

議員 子どもたちの読解力向上のため、リーディングスキルテストの継続を。

町長 テストを継続して実施することについて否定的な意見があった。

令和2年度より実施される国のGIGAスクール構想に基づき、まずは小学校5、6年生と中学1年生にタブレットを配置し、併せ



て各学校のWiFi環境を整備する計画としている。それを基に先生方には課題解明に取り組んでほしい。



石田孝夫 議員

除雪

事業者の赤字負担軽減を

持続可能な除雪体制の確保

現在2名の職員が交代で、役場周辺の除雪を行っている。
除雪事業者の意見も伺いながら、どのような取り組みが可能か検討する。

議員 除雪事業者に赤字の負担を押し付けるべきではない。
町で除雪車の一括借り入れをするべきではないか。

建設課長 町でリースする場合、継続的に、多額の費用を要することから、実施は困難である。

野沢交差点

ラウンドアバウト(ロータリー)に

事故防止に向けた協議を行う

議員 シンボルロード野沢交差点はカーブも強く、見通しが悪いうえにスピードを出して走り抜けている。
立山町総合公園への入り口であり、今後、ヘルジアンウッドへの来場者、そして年間を通して催し物も開催され、砦の丘へも多くの家族が訪れている。
事故防止やスムーズな交通の流れをつくるための交差点が必要ではないか。

建設課長 過去の経緯等から、新たに環状交



除雪グレーダー

差点を導入することは難しいが、立山町総合公園周辺の土地利用状況が変わってくることから、今後とも、当該交差点や、通称「たまたご坂下」交差点の周辺の交通状況を注視し、必要に応じて、富山県立山土木事務所や上市警察署など関係機関と交通事故防止に向けた協議を行っていく。



野沢交差点



平井久秋 議員

学校給食

学校給食の地産地消率は

全体的な利用率は50%超え

粉や寒もちを衣に使用している。
野菜以外にも、豚肉には立山ポークの使用量を増やし、味噌などの調味料でも町産を使用することとしている。
全体的な地場産物利用率は、50%を超えてきており、引き続き、地場産食材の積極的な利用を進めていきたい。

議員 平成三十年年度の地産地消率は45%であったが、令和元年度はいくらであったか。

教育課長 立山町産であることを最優先し、工夫をしている。新しい取り組みとして、献立作成時に揚げ物調理の際、小麦粉やパン粉の代わりに、町産の米



地消率の上がってきている給食

安心安全

「被災者台帳システム」導入の準備は

他市町村の動向を参考に研究

議員 大規模災害発生時に住民の被災状況を一元的に管理するこのシステムをハザードマップが配布されることを踏まえて、優先度を持って、準備に取りかかればと思うが。

総務課長 このシステムは、地理情報システムと住民基本台帳、障がい者福祉に関する情報を連携させ、システム上で一元的に管理するものである。
都道府県別整備状況では、平成30年4月現在、全国市町村の7割が未導入とのことである。システム導入の必要性は承知しているが他のシステムとの連携が必要であることからタイミングや国の財政支援、他市町村の動向を参考に研究し判断する。



議員 「たてポカード」はだれでも作れるようになってきているが、そのうちの交通ポイントだけはマイナンバーカードが必要になる。このマイナンバーカード取得者はまだ10数%であり、拒否感を

たてポカード

交通ポイントを取得しやすいように

マイナンバーを取得して申請を

後藤 智文 議員

町長 ごみ出しを含めた生活支援は「高齢者福祉の重要な基盤」となる。既存のサービスで支え切れない分野に

議員 高齢者世帯に対するごみ出し支援を検討してもいいのではないかと。高齢者の見守りにもなり、また、民生委員などの負担軽減ができると思うがどうか。国も支援している。

「たてポカード」

高齢者問題

町長 この制度は、マイナンバーカードと「たてポカード」を連携させることで、対象者が転出等により資格

感じている高齢者が多い。交通ポイントを取得する場合も「たてポカード」と同様、マイナンバーカードなしにすべきではないか。

を喪失した場合、直ちにポイント付与を停止できる仕組みになっている。マイナンバーカードを取得し、交通ポイント助成の申請をしてほしい。



今後、研究したい

については、国の支援等を活用しながら町が補える部分はないか、今後、研究したい。



その他の質問

代表質問	佐藤 議員	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス対策は ● 自然災害への対応 ● 交通安全環境の整備は 	<ul style="list-style-type: none"> ● 五百石地区の公共施設の再編を ● 学校教育の充実は ● 移住定住対策の促進策は
	澤井 議員	<ul style="list-style-type: none"> ● 立山町のり・デザインについて ● 危機管理体制の強化を ● たてポカードの充実を ● がん対策は 	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみの分別について ● 防犯カメラの設置状況は
一般質問	岡田 議員	<ul style="list-style-type: none"> ● 宮崎忠次郎ばんどり騒動の伝承と記念碑の顕彰を ● 都市計画道路の見直しの詳細は 	<ul style="list-style-type: none"> ● 有害鳥獣処理施設について
	荻生 議員	<ul style="list-style-type: none"> ● 有害鳥獣の処理施設について ● 移動スーパーのサービス開始から現在までの実績は 	<ul style="list-style-type: none"> ● たてポカードに付加価値を ● 地域おこし協力隊・自伐型林業・農業女子の活動について
	村上 議員	<ul style="list-style-type: none"> ● 成年後見制度の利用は ● 防災対策は ● 観光振興を ● 老朽化した用水・排水路の修繕対応について 	<ul style="list-style-type: none"> ● 有害鳥獣受難の年にすべき対策は ● E V活用でやさしい町づくりを
	後藤 議員		<ul style="list-style-type: none"> ● 第10次立山町総合計画は ● 立山グランドデザイン策定は ● 釜ヶ淵小学校校舎長寿命化事業 ● 不登校について ● 町の農業政策は ● 総合公園の提案 ● 避難所にエアコンを ● 合葬墓（永代供養墓）について

一般質問・その他の質問

私約交代による新体制で再スタート

新議長 挨拶



立山町議会議長

内山 昭

町民の皆様には日頃より、町議会に対してご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。この度、2月5日の町議会臨時会において議員の皆様のご推薦により、立山町議会議長を拝命致しました。心より感謝を申し上げる次第であります。

また、今年度は、立山町におけるこれからの10年間の政策指針を示す「第10次総合計画基本構想」の策定の年でもあり、これからの10年間、どんな未来を描くのか注視される所でありたい。

当局と議会が連携し、町民の皆様への負託に応えるべく、誠心誠意精進してまいりたい所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

6月立山町議会定例会日程

期日	時間	会議内容
4日(木)	10:00~	●本会議 (提案理由の説明) ●全員協議会
11日(木)	10:00~	●本会議 (一般質問・質疑、議案) 等の委員会付託
15日(月)	9:00~	●総務教育常任委員会
16日(火)	9:00~	●産業厚生常任委員会
18日(木)	13:30~	●本会議 (委員会報告、討論、採決)

★本会議の傍聴…どなたでも傍聴できます。
★委員会の傍聴については、議会事務局にお問い合わせください。

副議長

村上 紀義

総務教育常任委員会

◎石田 孝夫 ○平井 久秋
岡田 健治 内山 昭
佐藤 康弘 伊東 幸一
窪田 一誠

産業厚生常任委員会

◎荻生 義明 ○髪口 清隆
澤井 峰子 村上 紀義
後藤 智文 坂井 立朗
村田 昭

議会運営委員会

◎村田 昭 ○窪田 一誠
佐藤 康弘 伊東 幸一
後藤 智文

監査委員

伊東 幸一

立山自然保護特別委員会

◎窪田 一誠 ○村田 昭
内山 昭 佐藤 康弘
伊東 幸一 後藤 智文
坂井 立朗

議会広報特別委員会

◎平井 久秋 ○髪口 清隆
荻生 義明 澤井 峰子
石田 孝夫 村上 紀義
岡田 健治

議会改革特別委員会

◎窪田 一誠 ○村田 昭
澤井 峰子 石田 孝夫
村上 紀義 佐藤 康弘
後藤 智文 坂井 立朗

富山地区広域圏事務組合議会

内山 昭 村上 紀義

中新川広域行政事務組合議会

髪口 清隆 村上 紀義
後藤 智文 窪田 一誠

滑川中新川地区広域情報事務組合議会

澤井 峰子 岡田 健治
佐藤 康弘

富山県後期高齢者医療広域連合議会

内山 昭

都市計画審議会

村上 紀義 村田 昭
髪口 清隆 荻生 義明
(◎委員長 ○副委員長)

民生委員推薦会



新体制の議会広報特別委員会

あ と が き

この議会だよりが、発刊される5月1日、社会はどのような事態になっているのだろうか。今、世界中を席巻している「新型コロナウイルス感染症」。

過去にも世界を脅かす病は、幾度となく現れた。その都度、人類は英知を結集し、克服してきた。

今回も、この「コロナ感染症」に決して負けてはならない。今こそ、再び人類が国境を越えて協力し、この疾病に打ち勝つ努力をしなければならぬ。

では、私たちに出来ることは何か？それは特別なことではなく、今いわれていることを、しっかり守ることではないか。

誰にでもできること。それが自分を守り、家族、大切な人を守る。そして、それが日本を守り、世界を守る。

「普段から出来る」ことから始めよう。

(平井 記)

議会や議会だよりについて、みなさんのご意見・ご感想は

立山町議会内 議会だより係
TEL 462-9984 FAX 464-1118 まで

図書館及び町HPの「議会会議録」もご覧ください

らいじい&らいらい
LINEスタンプ販売中



議会広報特別委員会
委員長 平井 久秋
副委員長 髪口 清隆
委員 荻生 義明
澤井 峰子
石田 孝夫
村上 紀義
岡田 健治